

生涯学習グループ

学校支援センターの取組 ～社会教育主事等の学校訪問から～ 沼田市立沼田東小学校

「これから図書室で、読み聞かせを始めます。」

昼休み、コーディネーターの方による校内放送が入った。図書室のカーペット敷きのコーナーには、多くの児童が、地域の読み聞かせボランティアの方の周りに集まってきた。『サンタのおもちゃ工場』という仕掛け絵本を読み始めると、児童から「わあっ」と歓声が上がった。

沼田東小学校では、『学習支援センター』という部屋が設置され、学習ボランティアの方々が来校した際に、打合せや休憩、時には児童との交流の場として使われています。

本校では、読み聞かせの他に、次のような地域のボランティアの方々と連携した教育活動を行っています。

- ◎ 家庭科の手縫いなど直接学習を指導補助する活動
- ◎ 社会科の見学や遠足などの引率を補助する活動
- ◎ 農業や福祉などの体験を指導補助する活動
- ◎ 校内パトロールや下校時の安全パトロールなどの活動
- ◎ 地域の方による生き方教育に関する全校講話(朝礼)等



今年度から実施したサマースクール『夏休みわくわく活動』では、27の学習活動や体験活動の場を企画したそうです。来年度は、『学習支援センター』を機能させ、地域の方の協力を得た活動を取り入れ、より充実したものにしていきたいということでした。また、『学習支援センター』の地域への周知と協力をお願いした広報誌『学ボラだより』も発行され、学校と地域が連携・協力した教育活動が一層推進されるものと思われます。

今年度は、学校支援センターの推進・充実を図るために、担当指導主事とともに管内の小中学校16校を訪問させていただきました。どの学校も地域の実態に応じた学社連携・融合による取組を行っていました。

学校支援センターを機能させることにより、次のような成果が生み出されていることが確認できました。

- ◆ 地域の方の専門性を生かした授業等への支援により、学習活動の質的な高まりが見られること
 - ◆ 引率の補助や安全パトロールなど、教師だけでは対応しきれない部分を補うことによる効果が見られること
 - ◆ 地域の方が学校を理解するとともに、ボランティア活動をとおして自らの自己実現が図られること
- 今後も、学校と地域の双方に意義をもたらすことができるよう、学校支援センターの推進に努めてほしいと思います。